

# 世界人形行脚記 (二〇)

——世界教育大會より歸りて——

フレーベル館社長 高 市 次 郎

## ▽ヴェニスからウキンへ△

私たちはヴェニスに二泊の旅程を了つて、愈々汽車でウキンに向ふ。午後三時四十分發。汽車は幾たびか河を渡つて、左に見ゆる大アルプスの屋根、ユリアンアルプスの山脈を越すミ塊太利、即ちティロルアルプスの大觀はこれより遙に左。

汽車は暮地にヴィラク、クラーゲンフルト等の各驛を過ぎて、東方アルプスの山又山、谷また谷を縫つて、曉に近い夜行列車の窓に清々しい嵐氣の忍び込むのが感ぜられる。懸て着いた驛はブルック、こゝはグラーツを経てユーゴスラビヤへの分岐點、地動説を唱へて、所謂ケブレルの法則を確立した近世自然科學の創始者ケブレルの遺跡は

グラーツの斯うした山の中にあるといふ。

列車は谷を渡り山を越え、シユチーベルグ、ヒュールヴァール等の各山に圍まれたセンメリングの峠は朝明けの空に、車窓に、寢不足の私たちを迎へて呉れる。これからいよく二時間あまりでウキンに着くといふ。此の邊はウキンの都會人の避暑地であり、また冬期の遊び場になつてゐます。

朝八時、ウキンの南停車場に着。

## ▽「小さき巴里」ウキン△

全歐羅巴の中心として、塊太利は、東方帝國としての華かな歴史の頁にまかれて、今やあはれにも歐洲大戦役に於ける敗戦ミ、かの革命ミの瘡痕に喘いで、國際聯盟の保護

の下に悲しくもその敗憐の姿を保つてゐるのです。あゝ、音楽の國、美術の殿堂、將たまた學術の發祥地として燦然

がに老舗を偲ばせる「寂」をもつた落ち付きがあり、衝區の典雅なる趣きも「小巴里」の名に背かないものがあります。玩具店なきも誠に立派な店

も今や殘燈の灯影仄かに息つく一弱小共和國にしか過ぎない。過去三千萬の人口も、今は實に六百萬に減少した此の國、その首都ウキンも百八十万の市民を擁するに過ぎないのであります。

があり、私はこゝで随分澤山の買物を致しました。

▽アッパート

メント△

ウキンで觀たうちで私の心を惹いたものはアッパートであります。

國家本位の社會主義的共和國社會施設の一つとして勞働者の爲めのアッパートが出来てゐました。

高燥な四階建の鐵筋コンクリートの建物が幾棟もできて

然し、さすがに「小巴里」こいはれてゐるだけに、新興都市のやうな、我雜な、粗笨な感じを何所にも拾ひあけるここの出来ないウキンは、やはり文化の都、經濟の中心地として今猶ほ東歐に冠たるを思はせませます。

行き交ふ市民も上品であり、軒を並べる大商店も、さす

みて、それに圍まれた中庭は柔かい一面の芝生、そこに花壇が設けられ、色きりぎりの美しい花が今を盛りに咲きは



(照參文本) 形人逸獨

た來出で戸瀨が面顔は右、たしまめ需で林伯もれ何、面顔の製ドイツの肉い厚る顔は央中、でのもすましたい曲風に由自が節關皆、面顔の製戸瀨は左

こつてゐます。そして芝生の間のコンクリートの舗装道路には幾人かの子供が群れ遊んでゐました。

見物人はそれでも此の中庭へ入れるのです。

このアッバートの一世帯の部室さいふのは三室であつて、それに風呂、便所が附随し、暖房装置も總て行き届き、瓦斯を燃料とする炊事場があり、寢臺三個が備へられてゐて、日常の居住に事缺くことなく完備してゐます。そして大形の窓には一間ほぎの露臺がつけてあり、秋の草花が澤山に咲いてゐました。賃貸料一箇月、邦貨にして約七圓ほぎ。住つてゐる人は主に勤勞階級の人々のやうに見受けられました。



(照參本文) 具玩と形人おの逸獨

部全、アリテ・シッチコス、犬ドナーバ・トンセラか右すなズーボに由自て總曲屈の製屬金、形人化道の彫木、トツセのへかぜき形人おは後背。んさ査巡の逸獨るすまゐていつがと櫛と鏡てゐてつ揃でま着下らか衣上

この一棟のアッバートに實に一千五百世帯を抱擁してゐるのです。

これは何れも國家として社會政策上、建設されたもので、猶ほ他に數ヶ所のかゝる設備があるさいふ。

### ▽伯林へ△

私たちは、あの典雅な趣の首都ウキンに別れを告げて、塊太利から獨逸へ遍路をつゞけるのですが、さて、日を限られた忙しい旅ではないが、東洋の物情、兎角騒然たるものがあり、かの、柳條溝事件を發端として日支衝突の事も、有田大使にお目にかゝつた際にきいて、はじめて知つたので、シベリヤ經由の歸朝はさうやらあやし、何さなく前途をいそぐ心もちは一行の胸裡に去來して

るたのです。

午後十一時十分、ウキン發伯林への汽車は私たちをまつ

てゐるのです。チェツコスラ

ブキャへは下車せず、伯林へ

直行しようよ、私たちは早速

列車中の人々なる。樂聖シユ

トラウスの「ウキンの森」も

「美しくみざり流るゝドナウ」

の河も見るとすがもなく、ひ

た走りに伯林へこいそぐ。

眼がさめるま、いつか獨逸

の平原、北歐の氣分が漸く濃

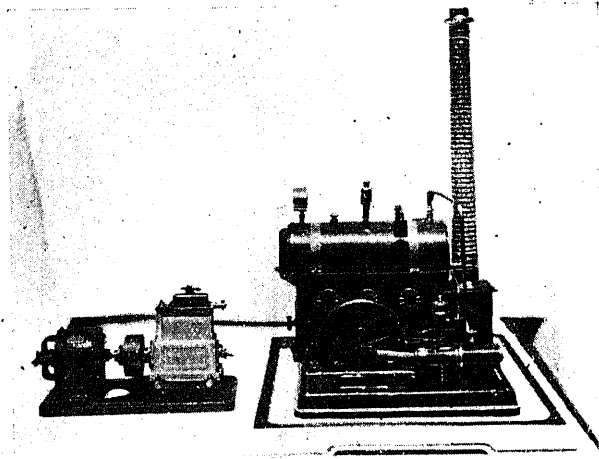
く、空も森も牧場も、南歐の

晴れがましい氣分にひきかへ

て暗く、而も秋ばれの日光は

まきにも輝いて、林も牧場も森のかげの尖塔も、きはやか

に車窓から見られる。羊や牛が参々伍々牧場の彼方こなた



(照參文本)具玩な的型模

れ何ターモは左、ンヂンエムーチスは右  
さ動發に際質、てし備具をののり通一も  
すまゐてつなにな置裝る得せ

に見える。あのミレの繪に見られるやうな農夫や農婦が畑  
に働いてゐながら私たちの列車を見送る。馬鈴薯を掘つて  
る派手な頭巾の農婦も見える。

衰へし國とも

見えず秋みのる

憧れの伯林

みるや秋晴れて

斯うして晝頃——午後零時

三十分に伯林につきまして直

にセントラル、ホテルに投宿

いたしました。

こゝではじめて英貨ボンド

の下落にあつて換金に正金へ

ゆくま、いつも二十二マーク

渡されるのに十八マークしか

呉れない。その翌日は十六マ

ークになり、その翌日は取引せぬまいふ。かくて伯林の買

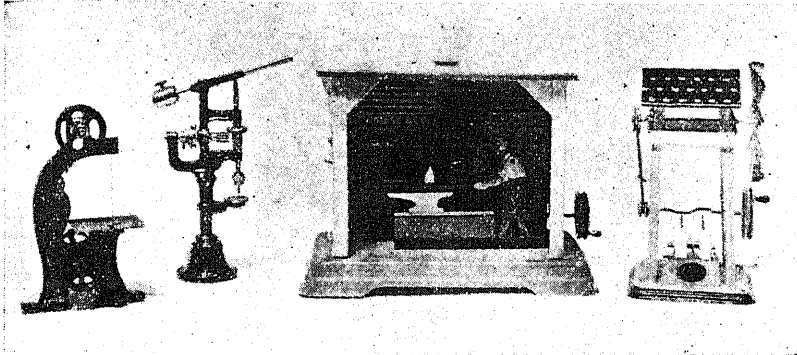
物は約十五マーク高いものを買つたわけになります。

△ポツダム  
の宮殿△

伯林から汽車  
で約一時間ポツ  
ダム(Potsdam)  
こいふ驛につま  
す。

こゝはロシ  
ヤ、ブランブデ  
ンブルク州の主  
邑で、ハーフェ  
ル河に沿ふて舟  
運の便もありま  
す。

この宮殿は西  
暦一七六九年、  
ウキリアム大帝  
の造營に係る離



(照參文本) 具玩な的型模  
、鋸絲るよに力動は端左でのもる得し用使に際實もれ何は種二の左  
なをルドンハ、置装のんさ屋冶鍛はつ二の右、(錐)ルリドくじ同は右  
すまき叩でーマンハ、がんさ屋冶鍛とす廻



(照參文本) 具玩く動で掛仕ネバ  
具玩い白面るす作動は又、し進行々夫にうやの物質、とすまき置てけかなネバ

官で、その善、  
美をつくした結  
構は礎に東洋の  
順禮者をして驚  
嘆させるものが  
あります。  
貝の間こいふ  
のは恰もロビイ  
(Lobby)の如き  
ところで、柱も  
壁面も、ダイヤ  
モンド、眞珠、  
水晶、サファイ  
ヤ、ルビー、瑪  
瑙、蛇紋石、珊  
瑚等、原石のま  
ま、又は加工せ  
ざる採取のま

をタイルの如く張つて作られた素晴らしく凝つたものであります。

食堂は全部大理石。頗る清々しい感じであり、應接室の第一には全部鼈甲で作られた大形の椅子、テーブルが厳然として鎮坐まします、其の豪華を誇つてゐる所、遺に時めいた、ホーヘンツォルン家の豪華を思はせる。この外、その書齋にも鼈甲製の机や椅子が置かれてあります。

第二の應接室にはマイヤーの陶器が断然光つてゐます。

花鳥のそれこそ見事な花瓶です。その外、壁面全部が鏡になつてゐる音楽室、恐らくは室中の樂師が花やかな衣裳でのオーケストラ、バンドが四圍の鏡面に映じて、更に一層の絢繡さを觀せたであらふと思はれます。清洒な寢室、遊戯具がそのまゝ保存されてゐる遊戯室、あらゆる書籍が背を見せて列んでゐる讀書室、ダンスホール、棧敷を圓形に造つた豪華な舞臺、及び大集會室があり、この外にカイゼルの住居があります。圖書室、書齋、食堂、皇帝の食堂、皇后室、待合室等眩しいほどの美さを以て私達にみせてくれました。

この宮殿はハーフェル湖畔にあつて、幽邃閑寂にして典雅な林泉の美は、私が歐洲の旅のうちで最もチャームされた所であります。

折柄夕刻、この湖畔を逍遙しました。

森をぬく尖塔高し秋のくれ

湖をめぐる森の茂りのしけりやう

### ▽獨逸の人形△

獨逸にはゼンマイ仕掛で動く玩具や人形等は殊によい物が澤山あり、私は種々物色してこゝで買入れたのが一番多いのです。

人形の瀬戸の頭は——嘗て本誌昨年三月號にも一寸記しましたが——獨逸より世界各國に輸出されたもので、大戰以前には米國へ數億ドルの輸出をしてゐて、我が國が米國へ輸出する生絲より遙にその輸出額が多かつたのであります。

以前は此の瀬戸の頭の人形が大分賣れたもので、これは嘗ても申した通り顔色・表情等も最も自由に且つ效果的に

出来、恰も可愛い實在の赤さんを見るやうに出来るのでその需用も多かつたのですが、その缺點とする所は重い事と破壊し易いこと等の爲めに、今は米國やその本場たる獨逸で少し賣つてゐるに過ぎない状況であります。

ところで、獨逸では、その瀬戸の頭に代る立派なものを造つてゐます。それはセルロイドを材料として、かのセルロイドのキュービーさんのやうな光澤は全然なく、いかにもふくよかな筋肉のやうに巧みに造つてゐます。これは軽く、原型の微細な部分までもその通りに出るし、生地も厚いので、人形の頭としては實に申し分ない材料であります。

その他、布製の頭の人形も大分出来てゐて、やゝ離れて見るミ瀬戸の如く、頗る立派なものであります。

一體日本人形の頭部の製法は世界でも獨特のもので、材料と言ひ、仕上げ加工の技術も云ひ、實に素晴らしいものであります。が、外國人の習慣として、子供のキッスに遭ふと、まことに慘めなもので、人形使節もこのキッスの被害を受けたものがあるといふことです。西洋人形に於ては道

に獨逸は巧みであつて、到底、米國の追隨を許しません。米國ではホースマンの作るものに良いのがありますが、これにて獨逸には及ばない状態で、一體に米國の人形は所謂ヤンキー式の下品さがあり、その上品な點に於いては佛蘭西人形を以て第一とせねばなりません。

獨逸の人形は愛らしいのです。斯うして私は伯林に於ける幾多の玩具店をあさつてみました。が、人形の外に、實物を縮少した模型的玩具が多く、而もまた巧みに出来てゐるのには、ほゞ感心せざるを得ないのであります。

\* \* \* \* \*

私たちは伯林から露國へ、そしてシベリア經由歸國の豫定で、乗車料金も急行寢臺券も夙に拂込み済みであつた所へ、かの日支事變に遭つて、愈々旅程を變更すべきやう、大使館からの注意もあつたので、あたら乗車料金も寢臺券もそのまゝにして印度洋を経ての船旅をつゞけることになりました。

あの最も華麗を誇るフリドリッヒストラッセ、それからあのウンテルデンリンデンミ、リンデンの落葉を踏ん

で、旅程變更のために幾度郵船や、クック社や、正金等へ行き來したこゝでせう。一行何れも無事元氣旺盛ながら、日支變遷の磅價の下落には閉口したのでした。

九月二十九日、伯林を愈々後に出發するにあつて、私はリンデンの並樹の落ち葉を泌々こした心地で踐んで歩きました。大島先生は

句もなくてリンデンの落ち葉ふみ歩く

ミヤルミ、若月氏は

金なくてリンデンをゆくやかへる雁

そこで私も

ものを思ふやリンデンの落ち葉はらはらこ

まここに獨逸の九月末は、冬の厚い外套を伯林で拵へて着て歩いたのですがそれでも寒く、色美しい落葉が街路に散り敷かれ、風に捲かれて、……おゝ寒む。

\* \* \* \*

(四一頁よりつづく)

せんのでそのまゝテストに申しますが、これによつて養はれてゆく場合がありませう。入學期を直前にして俄か仕込みを避ける爲に、又協力生活を良くするためには、一層個を知る必要がある爲に、出来る限り、一人づつを知ろうと努めてゐます。知るばかりでなく、この年齢相當の知力で知つておくべき事實は、特に知らせることも致します。この場合は、なるべく一人づつを順々によんで靜かにきいて見たり、話し合つてみたり致しますので、時には、直接記憶を養ふ爲に或る言葉を云はせて見るなごのこゝもあつて、自ら發表力を養ふ機會になります。

以上發表力を養ひますこゝについて、述べましたこゝですが、之は上手に發表する、うまくするこゝいふ意味ではないこゝいふこゝを呉々もお断りして置きます。始めにも申しました如く、一人の子ごもがもしかしたら、無言でも一日がすんでしまふ、それが一週間も續いたしたら、保姆が留意しなければ、保育を受けるに何らの痛痒を感じないですむこゝいふ事になつてしまふ事を懼れるのでございます。